

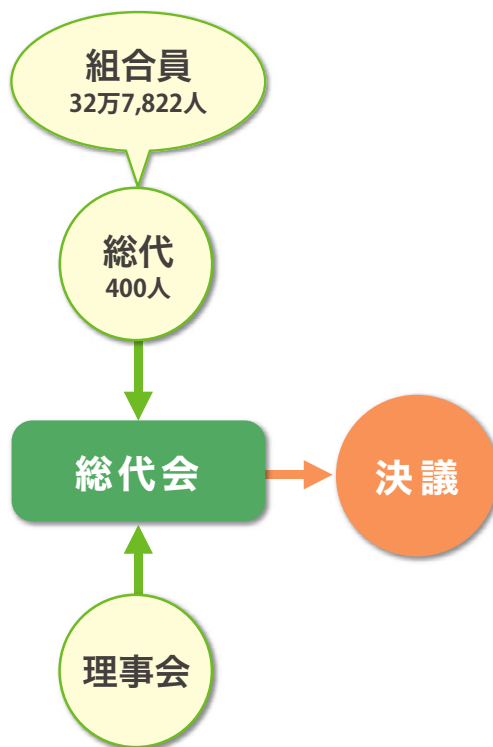


さまざまな取り組み

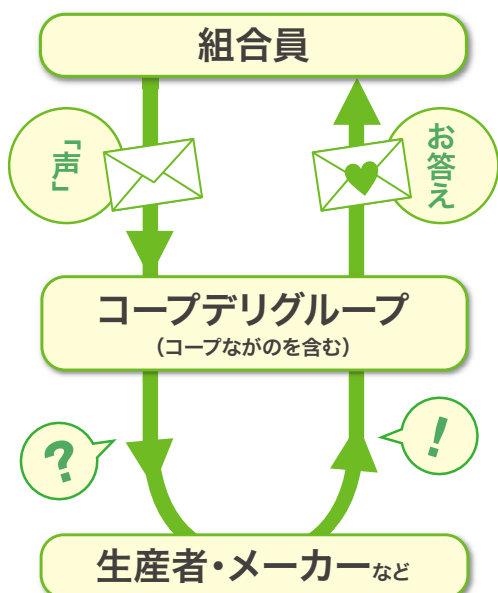
協同組合であるコープながのを支えるもののひとつに、組合員活動があります。「暮らし」にかかわる学びや、気づきのきっかけとなるさまざまな企画を行っています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引く中でも、自宅に居ながら学べる企画やオンラインを活用した交流など、感染症対策をとりながら組合員が参加できる形を考えながら発信しています。

通常総代会・ブロック別総代会議

コープは年1回開催する「通常総代会」で議決された年度の方針（運営や活動の方向性）に沿って運営されています。また、組合員の代表である「総代」と理事会とのコミュニケーションの場として年に2回のブロック別総代会議と年度のまとめについてご意見をいただく機会を設けています。これらで出された意見は、まとめや方針に反映されます。組合員が運営にかかわる大切な場となっています。

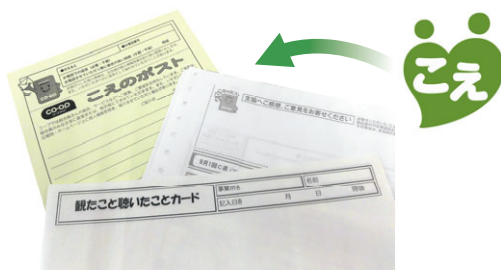


組合員の「声」



コープながのは、組合員から直接声を寄せられる「声のポスト」「お申し出」「お問い合わせ」のほか、職員が配達現場などで聞いた「聞いたこと聞いたことカード」の内容をすべてデータベース化しています。組合員からの声や意見・要望を把握して分析を行い、商品企画の頻度や商品の改善・開発につなげていきます。

コープ商品は、消費者である組合員の声を形にしてきており、そのスタイルは今も昔も変わっていません。



▲商品コミュニティサイト「コープ・デリシェ」

組合員の参加の場

コープに加入すること、商品やサービスを利用すること、総代のように組合員の代表として参加すること、さまざまな企画に参加することなど、多岐にわたる「参加の場」があります。

コープ会、オンラインコープ会

メンバーになった組合員が集まって楽しくおしゃべりする場がコープ会です。会っておしゃべりするコープ会と、Webでつながっておしゃべりするオンラインコープ会があります。

おうちdeお茶しよ!

自宅等を会場に家族やお友だちを誘って、コープの飲料を味わいながら身近な話題でおしゃべりする企画です。

学習会・講演会

コープ商品をはじめ、くらしに役立つさまざまな情報を知り、学ぶ場を設けています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインなどを活用した企画が増えてきています。

他団体との協力

社会福祉協議会や、NPO 法人フードバンク信州など、県内の各団体との継続的な関係づくりをすすめ、横のつながりを構築しています。取り組みに賛同・参加・協働することで地域に貢献しています。

屋外企画「がっこう」シリーズ

森・田・川・畑の4つのフィールドで楽しみながら、自然環境や食について考える屋外企画です。

がっこうシリーズ
について



長野県がすすめる「森林(もり)の里親契約促進事業」を活用し、3つのNPO法人と「森林(もり)の里親契約」を締結しています。これらのNPO法人の協力のもと、森林を知り、森林保全にかかわる活動を行っています。



田植えや田んぼの中の生きものさがし、稲刈り、稲わらを使ったクラフトなどを通じて、私たちが主食にしているお米ができる環境や育つ様子を学びます。



身近な川をフィールドに、川の中や周辺の生きものを探したり触れたりしながら環境について学びます。また、川に入る際に注意すべきことなどを知って体感する企画です。



畑での農作業をすることで土に触れ、自然や農業についての理解を深めます。JAあづみの協力のもと、20年以上続いている「ふれあい農園」、JA上伊那やJA信州うえだの協力により、野菜の収穫体験などを行っています。

